

検討項目	令和元年			令和2年												令和3年			適用予定年度								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
	第1回			第2回			第3回			第4回			第5回			第6回				第7回			第8回			第9回	
1. 今年度対応が必要な事項																											
(1) 国立大学法人に対する会計監査人の監査に係る報告書の改訂	●																										令和2年度
(2) 一法人複数大学への対応	●		●		書面審議																						令和2年度
(3) その他(セグメント等)	●		●																								*1
2. 財務報告に関する基礎的前提論点																											令和4年度
(1) 主要な財務利用者(利害関係者)の整理			●					●																			
(2) 国立大学法人等の財務報告の目的・機能の整理								●																			
(3) 整理された財務報告の目的と機能を踏まえた財務報告の構成								●	●																		
3. 財務諸表の構成要素の概念整理										●	●																
4. 財務報告に関する基本的な指針の検討										●	●																
5. 会計基準の改正																											
(1) 財務報告に関する基本的な指針を受けての改正													●	●													
(2) 企業会計基準の改訂等への対応(収益認識に関する会計基準等)														●	●												個別に検討
6. 事業報告書記載事項の検討									●	●												●	●				令和4年度

※スケジュールは見込みであり、検討状況によって変更となる可能性がある。

※5. (2)の企業会計基準の改訂等への対応に関する検討については、独立行政法人会計基準との整合性を図る必要があることから

独立行政法人評価制度委員会会計基準等部会と財政制度等審議会財政制度分科会法制・公会計部会による独立行政法人会計基準に関する検討状況により、スケジュールを変更する可能性がある。

\*1 セグメント情報の開示については、第1回、第2回の議論の状況を踏まえて、先に主要な財務利用者(利害関係者)や財務報告の目的等を整理した後に引き続き検討する。